

令和6年度

学校関係者評価報告書

学校法人英智学園

専門学校日本デザイナー芸術学院

令和6年度学校関係者評価報告書について

学校法人英智学園専門学校日本デザイナー芸術学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成25年度より学校自己評価を実施しております。

また、平成31度より引き続き本校に関係の深い方々のご意見をお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。

今回の学校関係者評価も昨年同様書面にての開催になってしまいましたが、学校関係者委員の方々からは、職業人、社会人として必要な技術、技能、人間力の教育方法や教育環境等について、貴重なご意見をいただきました。

この貴重なご意見は今後の施策に反映し、質の高い教育の提供、より優れた学校運営を目指していこうと教職員一同、努力して参る所存です。

引き続きご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

令和7年6月

学校法人英智学園
専門学校日本デザイナー芸術学院
校長 村上 克巳

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省ほか関係行政機関のご指導をふまえ、下記の4名の方々に評価委員をお願いいたしました。

	氏名	所属	任期	種別
1	野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	教育関係者
2	早坂 篤	有限会社スタジオ シー・オン 代表取締役	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	企業関係者
3	五十嵐 冬樹	火花デザイン室 代表	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	卒業生代表
4	高橋 正樹	高橋生花舗コーラルショップ 店長	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで	地域住民代表

【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要および学校自己評価報告書をお送りし、令和5年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただいた後、全員の取りまとめたご意見を再度各評価者にお送りし、結果を確認していただきました。

※今年度も書面開催の為

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、本報告書にとりまとめました。令和5年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また学校評価事業は毎年度、継続していきます。

学校関係者評価者意見・質疑

自己評価項目別

(1) 教育理念・目的

- a. 特に問題なく定められていると思います。
- c.d. この業界は日々進化しているので変化とどう向き合うかが問題です。

(2) 学校運営

- f. 内部のシステムの個人情報保護や使いやすさなどを時代に合わせて随時変更した方が良い。

(3) 教育活動

- d. 企業との連携強化は必要だが、その際、学校側の視点だけでなく企業や団体側に対して、学校として提示できるメリットなども意識する必要があるのではないかと
思う。
- e. インターシップのあり方、考え方を考える。
- i. 色々な業界や先輩からのZOOMなどでの勉強会を考える。

(4) 学修成果

- a.b.c.d. 全ての項目で評価が低いので対策を根本論から考えるべきだと思います。
- d. 卒業生専用の公式窓口、サポート体制の整備はコンプライアンスの観点から必要
と思います。

(5) 学生支援

- b. スクールカウンセラーと無記名相談窓口の使い分けはあるのか？
- g. 卒業生専用の公式窓口、サポート体制の整備はコンプライアンスの観点から必要
と思います。

(6) 教育環境

- a. 設備は個人購入を前提していますか？
- b. オンライン説明会やネット上でのインターンシップなども検討してみては？

(7) 学生の受入れ募集

- a. 専門職の習得として年齢をもっと幅広げていけるか？

(8)財務

この項目は、ご意見がありませんでした。

(9)法令等の遵守

この項目は、ご意見がありませんでした。

(10)社会貢献・地域貢献

- b. ボランティアへの参加は学生にとっても人の役に立つ経験が出来るので、学校に依頼が来た場合は積極的に参加させた方が良い。